

帝国ホテル4～12月最終 最高益26億円

訪日客が増加

帝国ホテルが22日発表した2015年4～12月期連結決算の純利益は、前年同期比12%増の26億円となり、連結決算に移行した00年以降、4～12月期としては最高益を更新した。中国などアジア

地域からの訪日外国人客の利用が増え、客室の単価も上昇した。宴会需要も旺盛だった。

売上高は4%増の418億円だった。帝国ホテル東京（東京・千代田）の4～12月の平均客室単価は約3万4000円と、前年同期に比べて1割強増えた。ホテル宿泊客に占める外国人比率は43%に達しており、外国人客の増加が単価を押し上げる効果につながった。一部客室を改装している影響で稼働率がやや低下した影響を補った。宴会事業は国際会議な

ど大型案件の開催が増え法人向けが好調だった。

16年3月期通期の純利益予想は前期比12%増の27億円を据え置いた。ただ4～12月期時点で進捗率は99%を超えており、通期業績は上振れする公算が大きい。